



歌に合わせた衣装で発表する安代小学校の子どもたち

児童の元気な発表響く

市小学校音楽発表会

市小学校音楽発表会が10月10日、市総合運動公園体育館で開催されました。

当日は、市内の児童約500人が参加し、日ごろから練習を重ねた合唱や演奏を披露。全員で衣装を揃えたり、身振り、手振りを交えて歌ったりするなど、それぞれの学校で工夫をこらして発表しました。発表後、元・安代小学校校長の高橋ひさ子さんが、「音、歌詞を大事にしていることが分かるすてきな発表でした」と、にこやかに講評しました。

日本文化学んだ11日間

タマサート大学生日本生活文化体験旅行

10月17日から27日までの11日間、タイのタマサート大学生17人が本市を訪れ、日本の生活や文化を体験し、市民の皆さんと親睦を深めました。

滞在中、大学生は市内の保育園などを訪れ、交流を図ったほか、ホストファミリーのお宅で日本の生活を体験。23日には、西根地区市民センターで日・タイ文化交流会を開催し、タイの伝統的なダンスや日本民謡、さんさ踊りを楽しみ、両国の料理に舌鼓を打ちながら、互いの文化を理解し合いました。



タイの伝統的な踊りを披露しました(10月23日)



関係者や遺族らが平和を祈り献花しました

平和の祈りを次世代へ

市戦没者追悼式

市戦没者追悼式が10月16日、西根地区市民センターで行われました。

式には、関係者や遺族ら約200人が出席。田村正彦市長が、「先の大戦での悲惨な体験を風化させないように次世代に語り継いでいかなければなりません。平和を愛し、戦争のない世界が訪れることを願います」と、追悼の辞を述べました。その後、出席者は、戦没者を悼むとともに、恒久平和を祈りながら、献花しました。

さまざまな特産品並ぶ

八幡平山賊まつり(市産業まつり)

八幡平山賊まつりが、10月12日と14日、市さくら公園で開催されました(13日は強風のため中止)。

会場には、市の特産品のほか、姉妹都市の宮古市や沖縄県名護市、北海道滝川市などの物産販売を行うテントや飲食ブースが立ち並び、多くの来場者でにぎわいました。また、期間中は、秋の山ぶどうフェスティバルも同時開催され、12日は俳優の辰巳琢郎さんが来場。山ぶどうスイーツやワインなど市の魅力が振る舞われました。



会場は多くの人でにぎわいました(10月14日)

センス光る作品を観賞

市芸術祭

市芸術祭が10月26、27の両日、安代地区体育館などで開催されました。

芸術祭では、市内の方や児童・生徒らの絵画や写真、手芸など約1,000点の作品を展示。27日には、郷土芸能や民謡などの舞台発表が行われました。また、芸術祭に合わせ、芸術文化の発展に貢献する次の方が、市芸術文化協会から表彰されました(敬称略)。▶高橋ミツエ(中平笠)、大巻三男(両沼)、澤田昭一(新町8区)、佐藤吉弘(岩木)



会場に並ぶ作品を観賞する来場者(10月26日)

姉妹都市と交流深める

第67回田老地区体育大会

第67回田老地区体育大会が10月10日、宮古市立田老第一中学校で開催されました。

市から、総勢33人の選手団が参加。リレーや綱引きなど多数の競技が行われ、大いに盛り上がりしました。アトラクションでは、さくらさんさ愛好会19人がさんさ踊りを披露し、大会に華を添えました。また、閉会式で林元卓夫大会長から、長年にわたり同大会を盛り上げた功績により、本市に感謝状が贈呈されました。



本市からの参加者が体育大会を盛り上げる力走

すなっぷギャラリー



認知症について講演が行われた市老人クラブ「女性の集い」(10月17日、西根地区市民センター)



安代漆工技術研究センター開所30周年を記念し修了生の作品を展示販売(10月26日、澤口酒店)



東京などからシェフが集まり市内の特産品で料理を作りました(10月7日、清水川養鱈場)



安代リンドウを視察にチリの生産者が本市を訪れました(10月11日、田山地内)



楽器に触れ楽しんだ「幼児のためのクラシックミニコンサート」(9月30日、市総合運動公園体育館)